

図書館へ 行こう!!



図書館 ☎82-6800
開館時間 午前9時～午後6時
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、
毎月最終金曜日(祝日の場合は前日)
1月1～4・10・16・23・27・30日

◆ホームページ
<https://lib-mihama.aichi.jp/>
◆Facebook
@mihamalibrary
◆Twitter
@mikan_kun2022



ホームページ用QR



【おはなし会】

場所：お話のへや

〈乳幼児向き〉

木曜日 午前10時30分～

5・12・19・26日

〈幼児・小学生向き〉

土曜日 午前11時～

7・14・28日

【児童図書コーナー掲示板】

園児絵画展 河和保育所(紫組)

1月14日(土)～2月12日(日)

【展示ギャラリー】

書き初め教室受講生の作品展

1月12日(木)～1月25日(水)

【おすすめ本】

『妻から哲学 ツチヤのオールタイム・ベスト』
土屋賢二 著
文藝春秋 発行
F/㊦/21(一般特集)

妻は学びの宝庫?!全国の女性たちから「こんな奥様に憧れます」と共感の声が寄せられた“規格外の妻”は何者なのか!?心が軽やかになるユーモアエッセイ。

『おおきくなったら、なんになる?』

刀根里衣 著
NHK出版 発行
E/オ/22(児童特集)

宇宙飛行士、消防士、デザイナー……。おおきくなったら、なんになる?うさぎのモカが変身を繰り返しながら、みんなのあこがれの職業をユーモラスに紹介します。



【特集展示】

一般特集 笑う門には福来る
一般ミニ特集 よんどこ!家康
児童特集 お正月・うさぎの本
※他の展示やティーンズコーナーの特集もあります

【1月5日(木)から開館】

美浜町図書館では毎月テーマを決めて本を展示したり様々な年代の方にご参加いただけるイベントを企画しています。

まだ読んだことがない本を探しに来てください。

皆様のご来館をお待ちしております。

【暖房器具の1つ…だるまストーブ】

形がだるまに似ていることから名付けられた鋳物製のストーブを“だるまストーブ”と呼びます。大正時代から昭和時代の中期まで、部屋全体を暖めることのできるストーブとして広まり、この時代に開拓を進めていた北海道では学校・病院・駅舎、集会場などで多く使用されました。

燃料としては、石炭や薪が使われました。このため、途中で燃料を継ぎ足さないと火が消えたり、燃えた後のたまった灰を捨てたり、煙突の内側についた煤を定期的には掃除する必要がありました。真ん中にある丸い部分を回すことで穴が開いたり閉じたりして、空気量を調節することで火力が決まります。



このストーブは、上の円形の蓋のところにやかんを置いて湯を沸かししたり、鍋を置いて煮炊きしたり、網を置いて“もち”や“いも”を焼いたりできる調理器具としても活躍しました。

昭和40年代以降には、簡便な石油ストーブの普及により、石炭などを燃料とするストーブ類は次第に姿を消しました。

しかし、薪ストーブは、寒さの厳しい地域に住む方だけでなく、最近ではレトロモダンなリビングルームの暖房器具として愛用する方が増えています。

写真のだるまストーブのサイズは
胴体高さ(煙突除く) 80cm
胴の直径 45cm

所蔵:美浜町教育委員会
生涯学習課 ☎82-5200

文化財シリーズ

No. 57